

社会福祉学科			介護福祉 専攻						
科目名: 介護実習 I-①			担当教員 氏名: 毛利 亘						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
2	1年次	前期	専門科目	実習	選択	介護福祉士国家試験受験資格(必修)			
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 専任教員が巡回指導を行います。									
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
利用者との人間的なふれあいを通じて、基本的な生活支援技術、コミュニケーション技術を学び、個別ケアの重要性を理解する。また他職種協働の実践を通して、チームケアの一員として介護福祉士の役割を理解する。					介護ニーズ 個別ケア 基本的な生活支援 コミュニケーション				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10				
A 知識・理解力			利用者の生活や介護ニーズを理解することができる						
B 専門的技術			基本的な生活支援技術を経験することができる						
F チームワーク・リーダーシップ			介護職員の役割を理解することができる チームケアを知ることができる						
G 倫理観			利用者の尊厳を守ることができる						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	%	発表:	%	実技試験:	%	その他:	100 %
特記事項: 施設評価60%と巡回時の評価20%、学内における評価(実習記録)20%で成績評価します。高齢者施設において指導者から指導を受けながら介護実践を行います。									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション <u>実習、フィールドワーク</u>									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 施設評価を個人面談形式で伝達します。									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容	学習に必要な時間(分)				
①	日々の記録を通して振り返る			予習・復習	30分				
②									
③									
④									
⑤									
⑥									
⑦	詳細については「実習要綱」に記載								
⑧									
⑨									
⑩									
⑪									
⑫									
⑬									
⑭									
⑮									
使用テキスト: ①最新介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習」中央法規出版 介護福祉士養成講座編集委員会 ISBN978-4-8058-5770-0 ②「介護実習要綱」				その他参考文献など: 「介護職のための根拠に基づいた記録の書き方」エルゼビア・ジャパン 是枝祥子・佐藤富士子・浦尾和江・嶋田美津江編著					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 実習は利用者の生活の場で行われるものなので、十分にそのことを認識して真摯に臨んで下さい。									